

アフガニスタン復興 NGO 東京会議

分野別分科会アピール

B. 教育

1. 現状

長期にわたる紛争や経済危機によりアフガニスタンの教育システムは壊滅した。今日ではわずかに国際組織に支援された学校が存立するのみである。

2. ニーズと提言

(1) アフガン NGO と日本および国際 NGO の密接な協力

- ・日本の協力が必要である。

(2) 遠隔地教育の重視

- ・教育に対する意識向上、文化的差異に対する留意
- ・学校へのアクセス向上
- ・遠隔地、都市における学校建設
- ・社会、文化活動の拠点としての学校建設

(3) 包括的な教育プログラム

- ・教育はあらゆるものの基本である
- ・衛生施設、家具、教科書、ユニフォームなどの必需品の供給
- ・ジェンダーに配慮した平和構築を促進するカリキュラム
- ・成人、青年に対する識字教育
- ・貧困世帯の子供に対する学校教育

(4) 人材育成

- ・専門教育
- ・中途退学者の教育
- ・海外の専門家招聘

(5) 国家レベルにおける教育政策および戦略立案

- ・全ての人びとへの教育
- ・復興の包括的プログラムの一部としての教育政策
- ・学校施設の充実
- ・一家の稼ぎ手のための基本教育
- ・図書館と蔵書の更新
- ・高等専門教育
- ・教育の政治化抑止

- ・ 遠隔地教育のための技術充実
 - ・ 貧困撲滅による教育の促進
 - ・ 遠隔地教育のためのコスト負担
- (6) 教育現場における安全性の確保
- ・ 教育現場における治安の確保
- (7) 教育における女性の役割増大
- ・ 無料教育
 - ・ 女子教育
 - ・ 意識向上のための教育
 - ・ ユニフォームなどの改善
 - ・ 女性教師養成
 - ・ 遠隔地教育
 - ・ 保育園、幼稚園の充実
 - ・ 現存する教材の改善
 - ・ 難民キャンプにおける教育
 - ・ 住民の意識向上と文化的差異に対する配慮
- (8) 障害者への包括的教育の充実
- ・ 障害者教育は不可欠
 - ・ 包括的な障害者のための教育
- (9) 教育のための国家政策
- ・ 国家政策の早期決定と実施
 - ・ 人材育成
 - ・ 専門的技術をもつ帰国アフガン人の受け入れ準備
 - ・ 体育の導入
 - ・ 脱中央集権化
 - ・ 政策過程に参加するアクターの多様化
 - ・ 教育現場の過度な規則化抑制
- (10) 難民、国内避難民の教育
- ・ 難民のための教育充実
- (11) 高等、専門教育促進
- ・ 学生寮の充実
 - ・ 奨学生制度の導入
 - ・ オープン大学開設
 - ・ 遠隔地教育
 - ・ 夜間教育
- (12) 教育施設および技術の導入

- 教育施設建設
- アフガニスタンの文化にみあったコミュニティレベルでの教育に必要な技術の導入
- 政府と民間部門の協力
- 通学路の整備
- 障害者施設を備えた学校建設